

今期は「10区と一組」で 新規採用を勝ち取る!

第5回中央委員会



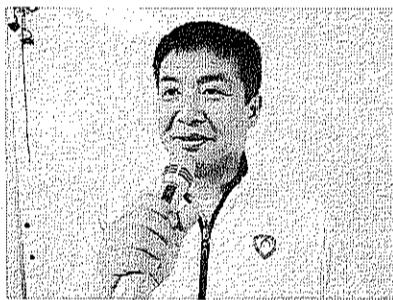
この勢いを止めることなく、運動の前進をはかるぞ!

「2017年度春闘期を中心とした当面の闘争方針」は、民間の春闘に連帯し、成果を我々の秋季賃金確定闘争に繋げることがもちろん、この間低下していた各区交渉事項の共有化や統一的な闘い方についても取組みを提起しています。また、昨年度から各区一組担当中央執行委員が交渉に専念する体制としましたが、とりわけ予算・人員要求闘争を当局の予算編成スケジュールに遅れること

なく進めること。そしてしっかりと総括を行い、次年度の闘いに繋げることなどを具体的に方針化しています。総括のない方針はありません。3月10日までは各区総括をして、その後開催予定の各地連討論集会で共有化し、2017年度の闘いに活かしましょう。

▲梁書記長から闘争方針を提案(1/20第6回中央委員会)
▲春闘方針に対し発言する岡崎中央委員代理(墨田支部)
▲真剣に討議資料に目を通す組合員の皆さん
労働法の破壊、自治体サービスの産業化、人権問題など、労働者と家族の生きる権利さえも奪おうとする安倍政権との闘いを強化するため春闘連続講座を開催し、単組・東京清掃労働組合の特性を活かし、春闘期から統一的な闘争を展開してきてまい進しましょう。(渡辺 歩)

2月20日(月)、SKホールにて第6回中央委員会が開催されました。第5回中央委員会にて提案し、職場討議を行っていた「2017年度春闘期を中心とした当面の闘争方針」を満場一致で確認しました。2017年度の新規採用を10区と一組で勝ち取っています。この勢いを止めることなく運動の前進をはかり、確立された闘争方針に基づき、全組合員の総力で取組みましょう。



▲春闘方針に対し発言する岡崎中央委員代理(墨田支部)

春闘期を中心とした当面の闘争方針を確立

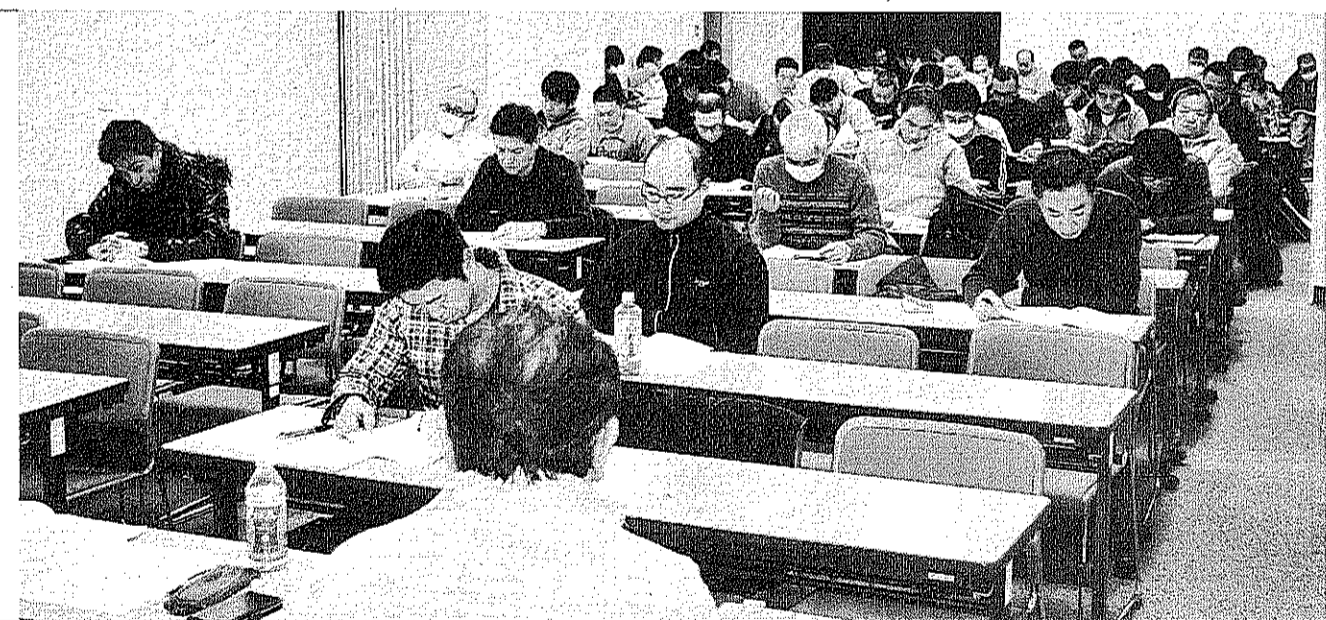
安倍政権 「働き方改革」など闘いの強化

「第6回中央委員会」を開催



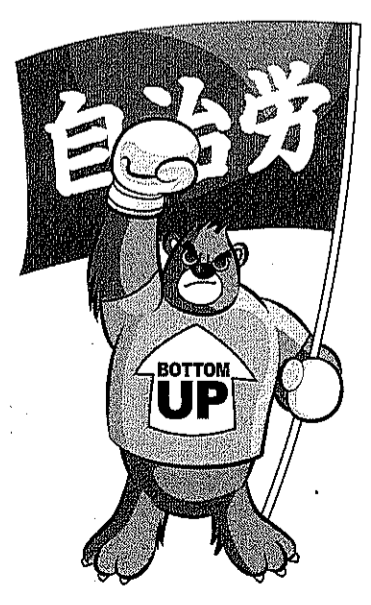
東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集責任 企画・総務局 多田修一郎

わが組合の綱領
一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。



春闘期を中心とした当面の闘争方針に基づく当面の日程

- ◆ 各地連春闘討論集会 (3月中に開催予定)
- ◆ 春闘連続講座 (演題は全て仮)
 - ① 3月10日(金)「世界を巡る動きと国会情勢報告」
えさき たかし 参議院議員
 - ② 3月17日(金)「廃掃法の理解と廃棄物行政を巡る動向」
佐々木 五郎 全国都市清掃会議専務理事
 - ③ 3月24日(金)「全国部落調査復刻版出版事件から人権問題を考える」
指宿 昭一 弁護士
- ◆ 第42回組織集会 6月18日(日)~19日(月)
- ◆ 第54年次自治研集会 8月20日(日)



第6回中央委員会



「春闘期を中心とした当面の闘争方針」を全文掲載



「春闘期を中心とした当面の闘争方針」を全文掲載

2016年6月の英国のEU離脱を導いた国民投票に続き、米連邦最高裁判所は「排外主義」「米国第一主義」を掲げるトランプ次期大統領の誕生が、グローバル化による厳しい国際競争にさらされた結果、貧困と格差が拡大し、生活不安や政治への不満の高まりがポピュリズムの台頭を招いている。分断と対立が生まれ、社会全体が不安定化への道を辿っている。

日銀は11月1日、金融政策決定会合で、物価上昇率2%の目標達成時期を、2017年度中から2018年度頃に先送りし、2016年度に物価上昇率2.0%を達成し、2017年度に物価上昇率2.1%を達成する目標を設定した。これは、民間の春闘相場は、秋期賃金決定闘争に大きな影響がある。地域民間春闘への支援・連帯など民間春闘への結果、全体賃金の底上げに資することが重要である。

特別区においては、現在、検討が進められている行政系人事制度の見直しと併せて、技能・業務系人事制度について必要な見直しを求めていく。先行している行政系人事制度の見直しは、技能・業務系人事制度にどう影響するかを分析し、我

良質な公共サービスとしての清掃事業を維持するためにも作業計画策定交渉を通じて必要な人員・機材の確保が重要

1. 若干の情勢について

2016年6月の英国のEU離脱を導いた国民投票に続き、米連邦最高裁判所は「排外主義」「米国第一主義」を掲げるトランプ次期大統領の誕生が、グローバル化による厳しい国際競争にさらされた結果、貧困と格差が拡大し、生活不安や政治への不満の高まりがポピュリズムの台頭を招いている。分断と対立が生まれ、社会全体が不安定化への道を辿っている。

日銀は11月1日、金融政策決定会合で、物価上昇率2%の目標達成時期を、2017年度中から2018年度頃に先送りし、2016年度に物価上昇率2.0%を達成し、2017年度に物価上昇率2.1%を達成する目標を設定した。これは、民間の春闘相場は、秋期賃金決定闘争に大きな影響がある。地域民間春闘への支援・連帯など民間春闘への結果、全体賃金の底上げに資することが重要である。

特別区においては、現在、検討が進められている行政系人事制度の見直しと併せて、技能・業務系人事制度について必要な見直しを求めていく。先行している行政系人事制度の見直しは、技能・業務系人事制度にどう影響するかを分析し、我

2. 東京清掃の主な課題と具体的な取組

(1) 2017賃金決定闘争の春闘期における取組

民間の春闘相場は、秋期賃金決定闘争に大きな影響がある。地域民間春闘への支援・連帯など民間春闘への結果、全体賃金の底上げに資することが重要である。特別区においては、現在、検討が進められている行政系人事制度の見直しと併せて、技能・業務系人事制度について必要な見直しを求めていく。先行している行政系人事制度の見直しは、技能・業務系人事制度にどう影響するかを分析し、我

(2) 予算・人員要求 作業計画策定交渉に向けた取組

予算・人員要求は、通年闘争と位置づけられる。1月15日現在、10区と清掃一組で現業系職員の新規採用が予定されている。新規採用の獲得は、事業の継続性や公共サービスとしての質の維持から、最重要課題である。引き続き、春の段階で統一的な新規採用に向けた要求書を出し、新規採用実現の取組を強化する。作業計画策定交渉においては、今年度の交渉を総括し、次年度に向けた課題の整理と2018年予算・人

第5回中央委員会



春闘期の闘争方針にめざす目標を掲げる木田中央執行委員長

2017年春闘期を中心とした当面の闘争方針(案)

はじめに

2016年賃金決定闘争は、長年の懸案事項である技能・業務系人事制度の見直しについて、区長会から「その対応について、皆さんと協議してまいります」という言葉を引き出し、交渉に至った。我々は、技能・業務系人事制度は、行政系人事制度と比べても不利な制度となっており、これを指摘し、改善を求めている。現在、見直しを検討されている行政系人事制度の見直しと併せて、特別区に働く職員が安心して職務に精進できる人事制度の確立は、喫緊の課題である。

新自由主義を基調とする政治状況の下、あらゆる公務員が民間委託され、もはや委託そのものが目的化され、良質な公共サービスという概念は、行政側や住民にも一般化されていない。地方行政が進む、量的な削減、合理化は相当程度進んだ。これからはその質が問われる。東京清掃労働組合が区移管以降も、23区・清掃一組という複数の自治体を横断する単一労働組合という組織運動をした意味は、社会的労働運動を追求する決意に他ならない。良質な公共サービスとしての清掃事業



「自作カッティングカー」の稼働を見学する小学生のみなさん(江戸川)

3. その他の課題と具体的な取組

(1) 各区自治研活動の推進

持続可能な地域社会の実現をめざす自治研活動の更なる推進は、喫緊の課題として、今年は一歩前進を期す。実施要綱等は別途ある。引き続き各区の自治研活動の推進を期す。

(2) 春闘期連続講座の取組

我われを取り巻く情勢について理解を深め、活動の推進を図る。3月17日(金)「廃棄物の処理と廃棄物行政を巡る」(飯)佐々木五郎氏を講師とする。3月10日(金)「世界を巡る動きと国会情勢報告」(飯)指宿昭一/弁護士

(3) 春闘オルグの実施

我われを取り巻く情勢や課題、方針等の全体での共有を図る。受入れ支部は全体集まりを兼ねることを目的に中会に持ち寄り、支部機関会議などでの受入れを基本に実施する。各区担当中会支部役員との意見交換や課長執行委員と常任中央執行委員との共有を図る。

(4) 第42回組織集会

第41回組織集会是、昨年9月に一日開催した。現をほかにできなかった。引き続き、職場点検と各区交際について理解を深め、いっしょの強化を目的に宿泊による支部から課題を報告する。第42回組織集会是開催する。

(5) 自治労ストライキ権批准投票

自治労のストライキ権批准投票である。2017春闘の開始として、諸要求実現にむけての闘争を内外に示すために、高率での批准確立を目指す。

(6) 第88回ミーティングの開催

わが組合は、ミーティングの開催を目的に第88回ミーティングを開催し、支部にミーティングを呼びかけ、具体的な課題を話し合い、取組を進めたい。

(7) 各種選挙勝利に向けた取組

昨年11月18日、衆参両院で憲法審査会が開催され、憲法見直しに向けた実質的な審議が再開された。昨年7月の参議院議員選挙で改選された方が目立った。憲法が3分の2を占めて以降、予断を許さない状況が続いている。また、与野党入りしても対応できるように準備している。また、与野党入りしても対応できるように準備している。また、与野党入りしても対応できるように準備している。

(8) 清掃関連労働者との連携強化に向けた取組

昭和運輸の自治労組合員に、自治労組合員は、清掃事業に携わる仲間との関係強化を図りたい。また、昭和運輸の自治労組合員に、自治労組合員は、清掃事業に携わる仲間との関係強化を図りたい。

(9) その他

退職する組合員の長年の労に感謝する歓迎会を開催し、退職者会への組織化を推進する。また、新規採用職員の組織化に向けた歓迎会を開催し、新入組合員歓迎会を開催する。



「春闘期を中心とした当面の闘争方針」を全文掲載



「春闘期を中心とした当面の闘争方針」を全文掲載

2017年1月31日
東京清掃労働組合
第5回中央委員会

